

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い			31
	客観性	思考的思慮深い			55
活動型	身体性	機敏な・気軽な			71
	気分性	感情のまま行動			59
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			59
	規則性	常識的・順法的			48
積極型	競争性	勝気な・積極的			61
	自尊心	気づらいが高い			50
自制型	慎重性	見通しをつける			57
	弱気さ	取越苦労・遠慮			59

■この人の中心性格は「活動・身体性」および「積極・競争性」であるが、「活動・気分性」や「努力・持続性」といった側面も本人は意識している。

●「活動・身体性」及び「積極・競争性」の人のパーソナリティスケッチ

新しい環境にもすぐに適応できる力があり、抵抗なくついていくことができる。受身にならず積極的に体を動かして、物事を解決していくことができるが、もう少し慎重な計画性とチェック機能が欲しいところである。また、気分が周期性があり、調子に乗れば何事も早い、気分が乗らないと何もしないという面がある。人間的には温かく、世話好きな面がみられ、周囲からは親しまれる。気に入った相手や物事に対しては、思惑や世間の常識にとらわれずに、良いと思ったことを素直に実行する傾向がある。また、目立ちたがりやであり、勝気な性格であるために、競争する環境などの条件がそろった以上の力を発揮することができる。そして、困難に遭遇したときは他にも働きかけ、外にうってでる。やや、他罰的傾向がみられるが、独善的に自分だけが偉いといった思いあがりはなく、他人との協調性もあり気遣いはみられる。自己主張が強く、ときに対人関係でギクシャクすることもあるが、人あたりの良さで局地的には回避することができる。

●もう一方の性格特性

内向的でなく、外向的な人である。関心が対社会にあり、自分の殻に閉じこもり、孤独に生きていくというタイプではなく、職場の雰囲気にも腐心し、気遣いのできる人。ただ、夢のような世界、美の鑑賞や創造の世界に、ひとり芸術的に生きるというサビの部分欠ける。

2 ストレス耐性

ストレスの種類	弱	強	指数
対人ストレス耐性			59
目標ストレス耐性			60
繁忙ストレス耐性			57
拘束ストレス耐性			45
総合ストレス耐性			51

信頼係数



回答に多少あいまいなところもあるが、おおよその部分が信頼できる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			64
協調性			65
責任感			55
自己信頼性			53
指導性			56
共感性			63
感情安定性			45
従順性			43
自主性			54
モットー傾向			51

自らの意見や提案を出し、率先して実行に移そうとする。仲間と一緒に考え、協力して目標に向かうことができる。

環境内の仲間と同じ立場になり、物事を考えようとする。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	強	指数
達成 欲求			68
自律 欲求			52
求知 欲求			66
危機 耐性			68
勤労 意欲			72
顕示 欲求			63
支配 欲求			60
親和 欲求			54
秩序 欲求			50
物質的欲望			54

困難な目標にも努力し、常に自分を向上させようとする。

知的好奇心が旺盛で、新しい事や珍しい事を追い求める。逆境に耐え、苦しいときも我慢よくやり抜こうとする。

仕事への意欲があり、生きがいの部分として考えている。

自分が輪の中心となり、人を楽しませたり興奮させたい。人の上に立ち、他人を動かすような力関係を形成したい。

■この人は「苦労を乗り越え、成長したい」系統の欲求群が一番強く、ついで「より高い水準に自分をしたい」系統の欲求群となっている。逆に「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群には淡泊な反応である。